

# 国際交流基金助成事業報告書

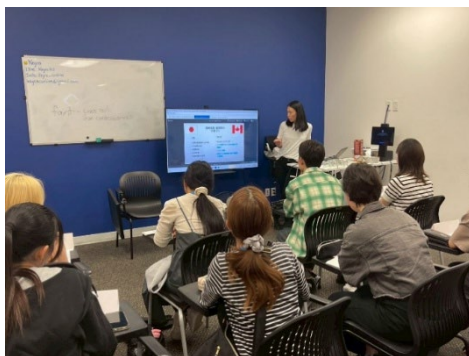
大阪医科薬科大学 薬学部1年 H.M

## 1. はじめに

私は、2025年8/15～8/22までの一週間、国際交流基金助成事業の援助を受けて、バンクーバーでの海外語学研修に参加しましたので報告いたします。医療英語のレッスンや、医療施設訪問、ホームステイなど、とても貴重な体験をすることができました。

## 2. 医療英語レッスン

8/18～8/20の三日間、私たちはバンクーバーのダウンタウンに位置する専門学校であるCICCC（Cornerstone International Community College of Canada）で医療英語を学びました。私たちの他にもたくさんの日本人留学生がおり、毎日様々なクラスの授業が行われていました。8/18は、様々な医療器具、診療科の英語の名称を学びました。日本語ですら知らなかった器具があり、新しい発見になりました。8/19は、様々な病気の名前と、それらに対処するための薬の英語の名称を学びました。薬学英语で学んだ単語がいくつかあり、大学での授業が理解に役立ちました。8/20は、患者と薬剤師になりきって英語で服薬指導の練習をしました。日常会話よりも難しい単語や文法が必要だったため、先生に添削していただきながら原稿を作っていました。全体として授業の形式は、ペアで相談したり、ディスカッションしたりするなど、会話中心で進んでいきました。授業の始めは、先生に前日の出来事を話すなどのフリートークの時間がありました。最初は発言するのに緊張しましたが、先生がたくさん話題を振ってくださり発言しやすい雰囲気でした。



### 3. 医療施設訪問

学校での授業が終わると、午後からは病院や薬局を訪れ、日本人の看護師と薬剤師の方の話を聞きました。カナダの医療制度のメリットやデメリット、日本との違いなどについて知ることができました。メリットは、医療従事者の福利厚生が充実しており、職種や年齢などによる上下関係があまりなく、医療費がすべて無料であることです。しかし、医療機関が不足しているため、診察が一ヶ月待ちになったり、すぐに命にかかわらない病気は手術が後回しになったりすることもあると知りました。また、カナダの薬剤師は処方箋を手書きで書き足したり、緊急であれば医師の診察なしで処方できたりすることを知って驚きました。日本と比べて患者の命に関わる判断をする機会が多いため、責任は重大だと感じました。他にも安楽死が合法であることや、日本で薬剤師の国家資格を取得した後にカナダで働く方法などについても教えていただきました。これらの話がきっかけで、海外で働くことも視野に入り、とても貴重な経験でした。



### 4. ホームステイ

私は、三年生の先輩と一緒にジャマイカ出身のホストファミリーにお世話になりました。飛行機の遅れのため、深夜12時頃の到着だったにもかかわらず、私たちが暖かく迎えてくれました。ホストファミリーの家から学校までは一時間半ほどかかるため、朝7:30には家を出なければなりませんでした。それでもホストマザーは、朝早く起きて私たちの朝食と、学校へ持って行く昼食を作ってくれました。朝はパンとスクランブルエッグ、昼はサンドイッチ、夜は骨付きチキンと米などを出してくれました。食事の時間はホストファミリーと一緒にではなかったので、それ以外で会話の機会を作りたいと考えていました。そこで、ホストマザーがリビングでテレビを見ている時に声をかけ、ニュース



番組を一緒に見ながら話をしました。私たちの大学のことや、日本のことについてたくさん質問をしてくれて、とても話しやすかったです。その日の出来事やジャマイカのこと、ニュースの内容などいろいろな話ことができました。しかし、言語の壁は厚く、頭の中で日本語では言いたいことが思い浮かんでも、それを英語にするのが難しく、伝えるのに苦労しました。もっとスピーキングの練習が必要だと痛感しました。



## 5. まとめ

私は、渡航前に二つの目標を立てていました。まず一つ目は、自分から積極的にホストファミリーと話すことです。この目標は自分なりに達成できたと思います。夕食が終わって寝るまでの時間しかゆっくりと話す機会がない中、ファミリーの空いている時間は毎日リビングに行って話をしました。自分からも話題を見つけてたくさん会話のきっかけをつくることができました。二つ目は、スピーキング能力を高めることです。一週間の研修だったため、飛躍的な向上はありませんでしたが、必死に言葉を紡いで、それが伝わった時は達成感がありました。私は、この研修を通して、カナダのフラットな上下関係や、カナダの薬剤師が持つ幅広い権限に惹かれ、将来は薬剤師として海外でも働いてみたいと強く思いました。そのために、今後も TOEFL や TOEIC の勉強に力を入れ、自分の英語力の向上に努めていきたいです。